



「 成長を実感する2学期に 」

校長 小寺 恵理子

2学期が始まり、子供たちの元気な声が学校に戻ってきました。今年の夏もとても暑く、突然の雷雨に驚く日も複数ありました。子供たちが大きな事故やけがに遭うことなく、2学期を迎えることができましたのも、保護者の皆様や地域の皆様の安全に対するご配慮、見守りのおかげです。ありがとうございました。

さて、1学期の終業式で、夏休みの過ごし方として子供達に3つのお話をしました。そのお話とは、①自分の命は自分で守る。②規則正しい生活をする。③お手伝いをたくさんする。の3つです。ご家庭での様子は、いかがでしたでしょうか。夏休みならではの体験が子供達のこれからの成長の助けとなり、2学期からの学校生活に生かされると期待しています。自然に触れた体験、普段なかなか会えない人との関わり、何かを作ったり見たりした体験などこれらの経験が2学期からの「学びへの意欲」につながり、成長への実感になってほしいと願っています。

2学期は運動会、校内作品展、社会科見学等たくさんの学校行事が予定されています。行事にはそれぞれの目的があり、行事への取り組みを通して子供たちは様々な力を身に付け、伸ばしていきます。運動が得意、絵を描くことが好きなど、それぞれの子供たちの得意なことや好きなことに取り組む中で、物事に前向きに取り組む姿勢が更に身に付いてくれればと思います。やる気の基になる心の活気は自己肯定感や好奇心でアップするといわれています。行事への取り組みの中で自己肯定感を高められるような声掛けをたくさん行い、心の活気を高めて行けるよう教職員一同努めてまいります。努力したのに結果が思わしくない場合は、努力しない方がよかったと落ち込んでしまう場合もあります。失敗しないことだけをすればそれなりの結果が得られますが、子供には無限の可能性があると考え、新しいことに挑戦し、結果が思わしくないことを不安に思うのではなく、ワクワクした気持ちで苦手なことにも挑戦していけるよう、努力しているプロセスにも着目しながら前向きな声掛けをしてまいります。

5年生は、7月26日～27日に林間学校に行き、今年度も様々な体験活動を行ってまいりました。林間学校では体験活動だけでなく、友達と協力して様々なことに取り組む成功させることで、相手を思いやり協力することの大切さも学ぶことができました。また、2日間寝食を共にして生活することで、友達の新たな良さを見つけられたことと思います。これらの経験を活かし、友達を思いやる気持ちを深めるとともに、これからの学校生活において様々な場面で本町小を支える高学年として、活躍してくれることを期待しています。